

国内での新型コロナウイルス新規感染者数は減少しつつあるなか、このような時期ではありましたが1年ぶりに上京してきました。今回の上京の目的は、各種団体の全国大会への参加と各省庁への要望活動です。都内の状況ですが、私の感覚では人流はコロナ前ほどではないものの、それに近いものを感じました。しかしながら、都内を移動していると飲食店であったと思われる場所にはシャッターが目立ち、新型コロナウイルスがもたらした影響を感じずにはいれませんでした。

上京中、日本最大の総合美術展である第8回日本美術展覧会（日展）を訪れました。この作品展には、赤木真理さん（宮内）が入選された作品（書道部門）と近隣の方が入選された作品（洋画部門）が展示されております。日展会場には、日本最大規模にふさわしいほどの多くの作品が展示されていましたが、この作品の中に日南町内の方の作品があることに喜びを感じ誇らしく思いながら、多くの入選作品を鑑賞させていただきました。今後も日南町の芸術分野の先頭にたち牽引していただくことをお願いし変わらないご活躍をお祈りしたいと思います。

また、スポーツ分野においても日南町の方の活躍がありました。米子松陰高等学校在学の田辺豊くん（矢戸）と河田剛くん（神福）のふたりは、先日開催された鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走（男子）の選手で見事優勝を果たし、7年ぶり7回目の全国高校駅伝大会への切符を勝ち取りました。コロナ渦で思うように練習できない中で個々が考え練習してきた栄冠です。米子松陰高等学校の選手たちは12月26日全国大会が開かれる都大路の舞台でタスキをつなぎます。平常心且つ胸を張って臨んでいただき大舞台での活躍を祈念します。町民の皆様一丸となって応援しましょう。

人口4千人台の小さな町ではありますが、一人ひとりが努力し全国の舞台で輝いている姿を見ることに大変誇らしく感じるとともに勇気づけられます。今そしてこれからの未来に向け町民の皆さんに勇気づけることのできる行政として努力してまいります。